

次期計画案（骨子）	現計画（旧）	備考
<p data-bbox="142 333 804 390">第2章 基本方針と全体目標</p> <p data-bbox="142 436 379 478">1 基本方針</p> <div data-bbox="151 663 1240 1110" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="172 674 522 705">※国の基本計画（全体目標）</p> <p data-bbox="172 716 1240 1020">本基本計画では、第3期基本計画の目標である「がんの克服」を引き続きの目標とした上で、がん患者を含めた全ての国民ががんに関する正しい知識を持ち、避けられるがんを防ぐことや、誰もが、いつでもどこに居ても、様々ながんの病態に応じた、安心かつ納得できるがん医療や支援を受け、尊厳を持って暮らしていくことができるがん対策を推進すること、<u>さらに、こうしたがん対策を全ての国民とともに進めていくことが重要であるという考えの下、「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す。」</u>を全体目標とする。</p> <p data-bbox="172 1031 1240 1110">また、全体目標の下に、「がん予防」、「がん医療」及び「がんとの共生」の分野別目標を定め、これらの3本の柱に沿った総合的ながん対策を推進する。</p> </div> <p data-bbox="157 1209 359 1251">※ポイント</p> <p data-bbox="201 1262 1136 1304">国の基本計画を踏まえ、基本方針や全体目標を設定</p>	<p data-bbox="1297 333 1958 390">第2章 基本方針と全体目標</p> <p data-bbox="1297 436 1534 478">1 基本方針</p> <p data-bbox="1314 489 2190 531">（1）がん患者等を含む道民の立場に立ったがん対策の推進</p> <p data-bbox="1329 541 2418 751">○ がん対策は、がんが道民の生命及び健康にとって重大な問題となっている現状に鑑み、がん患者等を含む道民の立場に立って推進されなければならないことから、基本法及び条例の基本理念に基づき、国はもとより、道、市町村、保健医療福祉関係者、教育関係者、事業者及びがん患者等を含む道民の適切な役割分担の下に、一体となって推進していきます。</p> <p data-bbox="1314 804 1976 846">（2）総合的かつ計画的ながん対策の実施</p> <p data-bbox="1329 856 2418 936">○ 本計画では、より一層実効性のあるがん対策を進めるため、基本計画と本道特有の実情を踏まえ、推進していきます。</p> <p data-bbox="1329 989 2418 1251">○ また、がん患者を含めた道民が、がんの克服を目指し、がんに関する正しい知識を持ち、避けられるがんを防ぐことや、様々ながんの病態に応じて、尊厳を持って、いつでも、どこに居ても、安心かつ納得できるがん医療や支援を受け、暮らしていくことができるよう、「がん予防」、「がん医療の充実」、「がんとの共生」を3つの柱とし、多岐にわたる分野の取組を総合的かつ計画的に実施していきます。</p> <p data-bbox="1314 1314 1872 1356">（3）目標とその達成時期の考え方</p> <p data-bbox="1329 1367 2418 1446">○ 本計画では、国のがん対策に関する目標との整合性を図りつつ、全体目標とそれを達成するために必要な分野別施策の個別目標を設定します。</p> <p data-bbox="1329 1499 2418 1579">○ また、原則として、全体目標と個別目標を達成するために要する期間を設定します。</p>	<p data-bbox="2457 898 2837 978">※下線部分～前回の国の基本計画からの変更点</p>

次期計画案（骨子）

2 全体目標

※国の基本計画（分野別目標～科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実）

1 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

～がんを知り、がんを予防すること、がん検診による早期発見・早期治療を促すことで、がん罹患率、がん死亡率の減少を目指す。～

がんを予防する方法を普及啓発するとともに、地方公共団体、関係学会等の連携による取組を推進し、科学的根拠を積極的に収集・分析した上で、その結果に基づいた施策を実施することにより、がんの罹患率を減少させる。全ての国民が受診しやすい検診体制を構築し、がんの早期発見・早期治療を促すことで、効率的かつ持続可能ながん対策を進め、がん死亡率の減少を実現する。

※ポイント

新たに「がん罹患率の減少」が追加

※国の基本計画（分野別目標～患者本位で持続可能ながん医療の提供）

2 患者本位で持続可能ながん医療の提供

～適切な医療を受けられる体制を充実させることで、がん生存率の向上・がん死亡率の減少・全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す～

がんゲノム医療をはじめとした高度ながん医療の提供を推進するとともに、患者本位のがん医療を展開することで、がん医療の質を向上させる。また、それぞれのがんの特性に応じたがん医療の均てん化・集約化を進め、効率的かつ持続可能ながん医療を提供することで、がん生存率を向上させ、がん死亡率を減少させる。さらに指示療法や緩和ケアが適切に提供される体制を整備することで、全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質を向上させる。

※ポイント

がん医療の提供による「生存率の向上」や「がん死亡率の減少」、「全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上」が追加

現計画（旧）

備考

2 全体目標

（1）科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

～がんを知りがんを予防する～

- がんを予防する方法を普及啓発し、がんの罹患者を減少させます。道民が利用しやすい検診体制を構築し、がんの早期発見、早期治療を促すことで効率的かつ持続可能ながん対策を進め、がんの死亡者の減少の実現を目標とします。

【がんによる死亡者数（上段(人)）及び75歳未満がん年齢調整死亡率（下段）】

（出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」）

区 分		H24調査値	H25調査値	H26調査値	H27調査値	H28調査値
北海道	男 性	10,723 ----- 117.5	10,751 ----- 113.0	10,927 ----- 110.2	11,072 ----- 111.1	11,075 ----- 108.5
	女 性	7,415 ----- 66.4	7,702 ----- 68.0	7,832 ----- 69.7	8,026 ----- 68.0	8,104 ----- 66.4
全 国	男 性	215,110 ----- 104.6	216,975 ----- 102.4	218,397 ----- 100.1	219,508 ----- 99.0	219,785 ----- 95.8
	女 性	145,853 ----- 60.1	147,897 ----- 59.6	149,706 ----- 59.7	150,838 ----- 58.8	153,201 ----- 58.0

（2）患者本位のがん医療の実現

～適切な医療を受けられる体制を充実させる～

- がん医療の質の向上、それぞれのがんの特性に応じたがん医療の均てん化・集約化、効率的かつ持続可能ながん医療の実現を目標とします。
- また、患者本位のがんゲノム医療等を推進し、個人に最適化されたがん医療の実現を目標とします。

次期計画案（骨子）	現計画（旧）	備考											
<div data-bbox="172 317 1252 543" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※国の基本計画（分野別目標～患者本位で持続可能ながん医療の提供）</p> <p>3 <u>がん</u>とともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築</p> <p>～がんになっても安心して生活し、尊厳を持って生きることのできる地域共生社会を実現することで、<u>全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上</u>を目指す。</p> </div> <p>※ポイント 「全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上」の追加</p> <div data-bbox="142 921 1252 1444" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※事務局（案） 全体目標を次のとおり設定してはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 75歳未満がん年齢調整死亡率の減少 （指標：75歳未満年齢調整率を全国平均値以下） ・ がん年齢調整罹患率の減少 （指標：年齢調整罹患率を全国平均値以下） ・ がんの生存率の向上 （指標：5年相対生存率を現状値以上） </div>	<p>（3）尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築 ～がんになっても自分らしく生きることのできる地域共生社会を実現する～</p> <p>○ がん患者が住み慣れた地域社会で生活をしていく中で、必要な支援を受けられることができる環境を整備します。関係者等が、医療・福祉・介護・産業保健・就労支援分野等と連携し、効率的な医療・福祉サービスの提供や就労支援等を行う仕組みを構築することで、がん患者が、いつでも、どこに居ても、尊厳を持って安心して生活し、自分らしく生きることのできる地域共生社会の実現を目標とします。</p> <p>《指標：75歳未満がん年齢調整死亡率》</p> <p>（出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」）</p> <table border="1" data-bbox="1412 1073 2401 1293"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>現状値 (H28調査値)</th> <th>目標値</th> <th>期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>108.5</td> <td>全国平均値（各年度で比較）</td> <td rowspan="2">6年間</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>66.4</td> <td>（参考：男性95.8 女性58.0【H28調査値】）</td> </tr> </tbody> </table>	区分	現状値 (H28調査値)	目標値	期間	男性	108.5	全国平均値（各年度で比較）	6年間	女性	66.4	（参考：男性95.8 女性58.0【H28調査値】）	
区分	現状値 (H28調査値)	目標値	期間										
男性	108.5	全国平均値（各年度で比較）	6年間										
女性	66.4	（参考：男性95.8 女性58.0【H28調査値】）											